

伊達

DATE

【だて市政だより】

別冊特集 令和5年度予算

5月号 May 2023

2023年4月27日発行
(毎月第4水曜日発行)

令和5年度 伊達市事業説明書

－ 知ってください今年の取り組み －



伊達市



令和5年度 伊達市事業説明書の発刊にあたって

伊達市長 須田 博行

令和5年度当初予算の編成にあたっては、本年度が初年度となる第3次総合計画の目指す将来像「人と緑と歴史が結び合う ひかり輝く田園空間・伊達市」の実現に向け、次に掲げる6つのまちづくりを進めるための予算編成を行いました。

1つ目は、「安全・安心できれいなまち」として、消防・防災・減災体制の強化を図るとともに、きれいな生活環境の形成に向け環境保全対策を推進してまいります。

2つ目は、「健やかでやさしい健康・福祉のまち」として、市民が健やかで安心して幸せに暮らせるよう、健康づくりや保健・介護・福祉サービスの提供、医療体制の充実や社会参加・生きがいづくりの促進に努めてまいります。

3つ目は、「未来を拓く人を育む教育・文化のまち」として、伊達市版ニューボラ事業の充実をはじめ、子育て家庭を応援する体制の強化、学校教育・生涯学習環境の充実、市民主体のスポーツ・文化・交流活動の促進に努めてまいります。

4つ目は、「活力とにぎわいあふれる産業のまち」として、農業の担い手の育成・確保、農産物のブランド化の促進、商工業の振興や観光機能の強化、雇用の確保・拡大に向け取り組んでまいります。

5つ目は、「便利で快適に暮らせるまち」として、地域公共交通の見直し、デジタル化の推進、快適な住環境づくりや定住・移住対策を進めてまいります。

6つ目は、「みんなでつくる協働のまち」として、男女共同参画社会に向けた環境整備、町内会や地域自治組織への活動支援、市民や市民活動団体などの参画・協働の促進に努めてまいります。

これらの事業を展開し、多くの若者が住み、子どもの声が響き、市民一人ひとりが健康で生きがいを実感できる伊達市、自然と都市が調和する美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市を創ってまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年4月

も
く
じ

令和5年度 伊達市事業説明書の発刊にあたって	2
第3次総合計画	3
令和5年度 予算のポイント・予算規模	4
令和5年度の主な取り組み	
■ 安全・安心できれいなまち	6
■ 健やかでやさしい健康・福祉のまち	8
■ 未来を拓く人を育む教育・文化のまち	10
■ 活力とにぎわいあふれる産業のまち	12
■ 便利で快適に暮らせるまち	14
■ みんなでつくる協働のまち	18

第3次総合計画

【計画期間：令和5年度～令和14年度】

この計画は本市の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的なまちづくりの指針となるものであり、最上位の行政計画に位置づけられています。

この計画を実行していくことで、多くの若者が住み、子どもの声が響き、市民一人ひとりが健康で生きがいに満ちた人生を送っていることを実感できる、自然と都市が調和する美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市を目指します。

1 伊達市の将来像

(1) まちづくりの基本姿勢

1 『若者の定着と還流』を促す

2 『緑と歴史文化』とともに生きる

3 『未来を拓く子ども』を大切にする

4 『すべての人の健幸』を築く

5 『人と人とのつながり』を大切にする

これらを大切に進め、多くの若者が住み、子どもの声が響き、市民一人ひとりが健康で生きがいに満ちた人生を送っていることを実感できる、自然と都市が調和する美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市をつくっていくという想いを込め、将来像を次のとおり定めます。

(2) 将来像

人と緑と歴史が結び合う
ひかり輝く田園空間・伊達市

2 将来像の実現に向けて

(1) 基本目標

1 安全・安心できれいなまち

2 健やかでやさしい健康・福祉のまち

3 未来を拓く人を育む教育・文化のまち

4 活力とにぎわいあふれる産業のまち

5 便利で快適に暮らせるまち

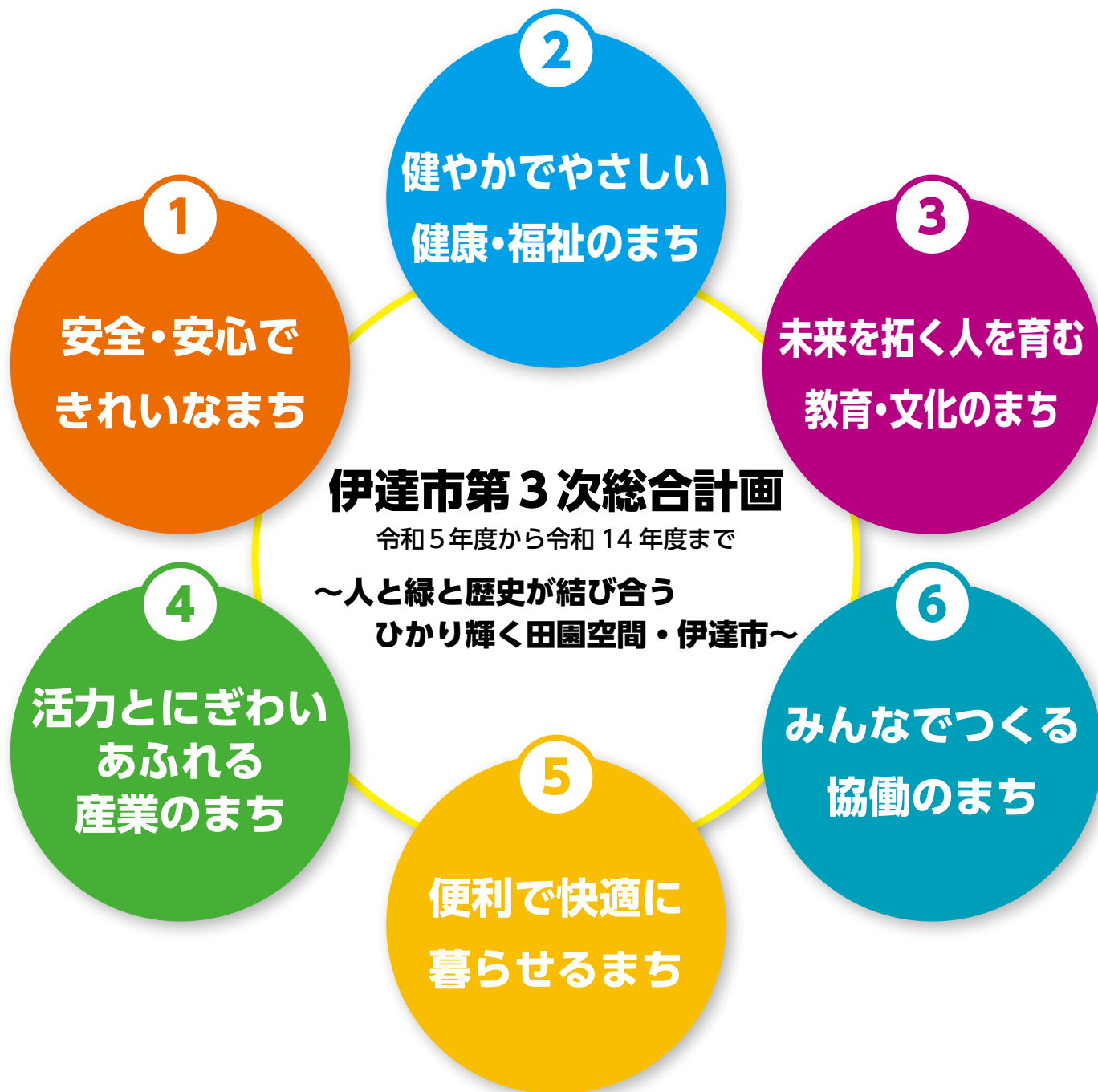
6 みんなでつくる協働のまち

施策項目	1-1 消防・防災	1-4 環境保全
	1-2 放射線対策	1-5 ごみ処理
	1-3 交通安全・防犯・消費者対策	
	2-1 健康づくり	2-4 障がい者支援
	2-2 保健・医療	2-5 地域福祉
	2-3 高齢者支援	2-6 国民健康保険・国民年金
施策項目	3-1 子育て支援	3-4 スポーツ・レクリエーション
	3-2 学校教育	3-5 歴史・文化財・芸術文化
	3-3 生涯学習	3-6 国内・国際交流
施策項目	4-1 農業	4-4 工業・企業誘致
	4-2 林業・森林保全	4-5 観光
	4-3 商業	4-6 雇用対策
施策項目	5-1 土地利用・市街地整備	5-4 住宅・定住・移住
	5-2 道路・公共交通	5-5 上・下水道
	5-3 デジタル化	5-6 公園・緑地
施策項目	6-1 男女共同参画	6-4 自治体経営
	6-2 コミュニティ	
	6-3 市民参画・協働	

○これらの基本目標を基に各種施策を展開していきます。ここでは、基本目標ごとに今年度実施する主な事業を紹介します。

令和5年度 予算のポイント・予算規模

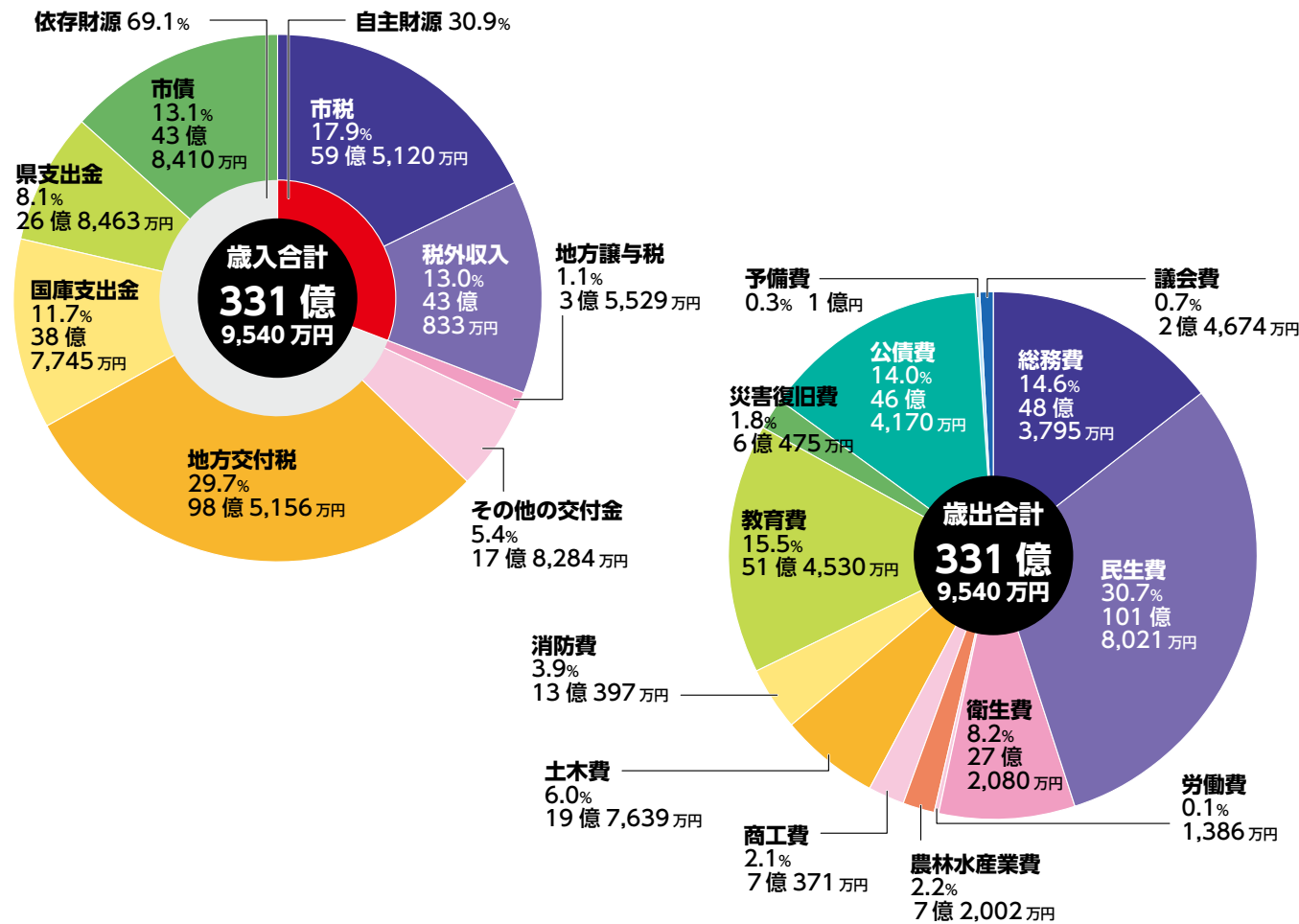
令和5年度は、「安全・安心できれいなまち」「健やかでやさしい健康・福祉のまち」「未来を拓く人を育む教育・文化のまち」「活力とにぎわいあふれる産業のまち」「便利で快適に暮らせるまち」「みんなでつくる協働のまち」の6つを柱として重点的に施策展開を図ります。



令和5年度に行う事業の予算規模

令和5年度の予算規模は、前年度比1.4%、4億5,381万円増の**331億9,540万円**となりました。予算編成にあたっては、自然災害、新型コロナウイルス感染症、物価高騰等による財政への影響は予断を許さない状況にあり、限られた財源の中での厳しい予算編成となりましたが、すべての事務事業の検証と見直しを行いながら未来につながる飛躍の年となるように各事業に重点を置いた予算編成を行いました。

令和5年度の総予算グラフ



令和5年度予算の概要

(単位：千円)

会計名称		予算額	前年度比
一般会計		33,195,396	1.4%
特別会計	国民健康保険特別会計	6,375,466	△ 2.0%
	後期高齢者医療特別会計	933,378	1.4%
	介護保険特別会計	7,736,799	△ 1.3%
	栗野地区農業集落排水処理事業特別会計	54,731	185.3%
	工業団地特別会計	5,062	△ 99.5%
	月舘宅地造成事業特別会計	20,475	△ 3.7%
	財産区特別会計（12会計）	16,983	5.3%
水道事業会計（公営企業会計）	収益的支出	1,697,059	1.1%
	資本的支出	819,218	12.8%
下水道事業会計（公営企業会計）	収益的支出	744,715	△ 1.4%
	資本的支出	728,715	△ 7.3%



安全・安心できれいなまち

新規 低炭素型まちづくり推進事業

担当課 生活環境課

600 万円

市内に住所を有する市民及び法人等に対して、走行時に温室効果ガスを排出しない次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車）の購入に係る費用の補助を行い、低炭素型のまちづくりおよび地球温暖化防止対策を推進します。

【主な取り組み】

電気自動車、燃料電池自動車の購入に係る費用の一部を補助

○電気自動車（EV）：50,000円/件

○燃料電池自動車（FCV）：200,000円/件



電気自動車

財源（万円）	市の負担
	600

新規 動物愛護推進事業

担当課 生活環境課

87 万円

飼い主のいない猫の増加を抑制するため、不妊去勢手術に要する経費の助成を行い、動物愛護、地域の公衆衛生の向上と良好な生活環境を守ります。

【主な取り組み】

飼い主のいない猫の不妊去勢手術を行うボランティア団体や地域住民グループなどに対し、不妊去勢手術に必要な経費を補助

○不妊手術：1匹につき8,000円

○去勢手術：1匹につき4,000円



グルーミングする猫

財源（万円）	市の負担	その他（狂犬病予防注射済票交付手数料）
	60	27

一新 災害（防災）対策事業

担当課 防災危機管理課

6,274 万円

災害に備え、防災行政無線および排水ポンプ車等の管理・運用、備蓄品の確保などを行います。

また、市防災アプリの利用促進と利便性向上を図るため、防災情報以外の情報も配信可能なアプリに改修します。

【主な取り組み】

○防災支援専門官の配置

○災害時に必要となる備蓄品等の購入

○市防災行政無線（移動系・同報系）および排水ポンプ車などの管理・運用

○伊達市防災アプリの仕様変更

○県総合情報通信ネットワークシステムの運用

○県消防防災ヘリコプターの運航に係る負担金 など



排水ポンプ車

財源（万円）	市の負担
	6,274

安全・安心なまちづくりを進めるため、これまでの災害・事故等の教訓を踏まえた消防・防災・減災体制の強化、放射線対策の継続、交通安全・防犯・消費者対策を推進するとともに、きれいな生活環境づくりに向け、環境保全対策やごみ処理・リサイクル対策を進めます。

96事業
26億
7,089万円

新 再生可能エネルギー推進事業

担当課 生活環境課

260万円

地球温暖化防止対策の一つとして、住宅用蓄電池システム設置に係る費用について補助を行います。

また、電気自動車住宅用蓄電池代わりにするシステム「V2H」の設置に係る費用の補助を行います。

【主な取り組み】

太陽光発電システムと連系した住宅用蓄電池システムおよびV2Hシステムの設置に係る費用の一部を補助

○住宅用蓄電池システム：20,000円/kwh

※上限：4kwh（80,000円）

○V2Hシステム：50,000円/件



住宅用蓄電池システム

財源（万円）	市の負担
	260

新 避難行動要支援者対策事業

担当課 社会福祉課

239万円

災害が発生した際に、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者などの避難行動要支援者を円滑で迅速な避難誘導などの安全確保につなげていくため、対象者を把握し、名簿（台帳）および個別避難計画作成の勧奨・整備を行います。

市民の安心・安全な暮らし実現のため、事前に関係機関と情報を共有して、災害発生時に備えます。

【主な取り組み】

○避難行動要支援者管理システム費用

○対象者へ個別避難計画作成勧奨



避難行動要支援者制度のイメージ図

財源（万円）	市の負担
	239

新 農産物魅力発信事業

担当課 商工観光課

3,163万円

伊達市が誇る様々な農産物の魅力を広く発信するため、トップセールスをはじめとする量販店などでの推奨販売、各種イベントやメディア活用のほか、首都圏在住者などとの交流事業を行います。

【主な取り組み】

○農産物などPRイベント

○メディアやSNSなどによる情報発信

○消費者との交流機会創出



甲冑姿でトップセールスを行う

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,480	1,683

健やかでやさしい健康・福祉のまち



一新 地域医療確保対策事業

担当課 健康推進課

1 億 4,620 万円

地域医療の中核を担う医療機関の運営支援を行うとともに、市民が身近な診療所で受診できるよう医師の確保を図ります。

【主な取り組み】

- 症状に応じた専門的な相談ができる電話窓口（＃7119）を設置
- 地域医療の中核を担う病院に運営費の一部を助成
- 市内の医業を承継した医師等に対して補助金を交付
- 福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座を寄附講座により北福島医療センターに設置



地域医療の運営を支援

財源（万円）	市の負担
	1 億 4,620

一新 健幸都市推進事業

担当課 健幸都市づくり課

960 万円

第2次健幸都市基本計画に基づき、「歩く」ことを基軸とした健幸都市づくり推進のため、地域の資源を活用したウォーキングイベント開催やウォーキングコースの新設により、歩きたくなる環境づくりを実施します。

また、働き盛り世代の健康づくりのため、事業所を通した健康支援を行います。

【主な取り組み】

- ウォーキングイベントの開催
- ウォーキングマップの作成
- だてな健幸ポイント事業
- 事業所の健康経営を支援



黄金色の田を眺めながら歩く

財源（万円）	市の負担	その他
	955	5

一新 不妊治療費助成事業

担当課 健康推進課

931 万円

不妊治療を行う夫婦の経済的負担軽減のため、治療費の一部を助成します。

【主な取り組み】

- 夫婦いずれか一方が、伊達市に住所を有する方が対象
- 特定不妊治療
 - ・治療ステージによって1回上限15万円または上限5万円を助成
- 一般不妊治療
 - ・初めて助成を受けた際の治療開始月から36月（3年）間に実施した治療について、1組の夫婦に合計6万円を助成



医師との相談のイメージ

財源（万円）	市の負担
	931

継続 伊達市保健センター改修・増築事業

担当課 健康推進課

2 億 2,712 万円

施設の長寿命化を図るとともに、発達相談支援機能、養育支援機能などの子育て支援機能を集約して連携を強化するため、保原保健センターおよび子育て世代包括支援センターの改修・増築工事を進めます。

【主な取り組み】

- 保原保健センターおよび伊達市子育て世代包括支援センターの改修工事



改修する保原保健センター

財源（万円）	市の負担
	2 億 2,712

市民が健やかで幸せに暮らすことができるよう、「健幸都市」づくり、きめ細かな保健サービスの提供、医療体制の充実を進めるとともに、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護・福祉サービスの充実や社会参加・生きがいの促進に努めます。

81 事業
62 億
9,453 万円



健康運動習慣化支援事業

担当課 健幸都市づくり課

4,308 万円

生活習慣病を予防し健康寿命の延伸を図るため、身近な集会所で住民が主体的に運動活動続けながら交流の場となる「元気づくり会」とトレーニングマシンを活用した健康運動教室「健幸クラブFine」を実施し、健康づくりのための運動を幅広く提供します。

【主な取り組み】

- 元気づくり会事業…集会所などでの運動を介して、住民自ら継続できるように支援し、元気な人づくりと共助社会の構築の推進
- 健幸クラブFine事業…マシン類を活用し健康運動指導士による効果的な健康増進・介護予防など運動教室の実施
- 働き盛り世代の予防重視型健康づくり事業…働き盛り世代が参加しやすい平日夜と土曜日に、健幸クラブFine事業の実施



運動と交流の場となる元気づくり会

財源 (万円)	市の負担	その他 (参加料)
	4,188	120



健康運動習慣化支援事業 (体成分分析機導入)

担当課 健幸都市づくり課

53 万円

体の部位別に筋肉量や脂肪量など総合的に分析が可能な体成分分析機により自身の体の状態を知ること、運動・スポーツの必要性や重要性を認識させ、健康づくりへの継続を促進します。

【主な取り組み】

- 健幸クラブFineや各種イベント参加者に体成分分析機による測定の実施
- 測定結果に基づくデータ分析



体成分分析機

財源 (万円)	市の負担
	53



検診事業

担当課 健康推進課

1 億 3,324 万円

40歳以上（子宮頸がんは20歳以上）の市民を対象として各種がん、肝炎および骨粗しょう症などを早期発見し、市民の健康寿命の延伸および健康増進を図るため各種検診を実施します。

【主な取り組み】

- 各地域の交流館などを巡回する集団検診の実施
- がん検診（胃がん・子宮頸がん・乳がん）を指定医療機関で受診する施設検診の実施
- 感染予防対策の徹底と受診しやすいように電話およびWebなどによる完全予約制で実施
- 未受診者への受診勧奨対策および支援フォローの充実



各種検診を実施しています

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1 億 3,121	203

未来を拓く人を育む教育・文化のまち



新規 出産・子育て応援事業

担当課 ネウボラ推進課

3,017万円

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫してネウボラ保健師などが相談に応じ、必要な支援につなぐ伊達市版ネウボラ事業（伴走型支援）の充実を図ります。併せて、妊娠届・出生届を行った妊産婦などに対しそれぞれ50,000円を支給する出産・子育て応援給付金を一体的に実施します。

【主な取り組み】

- 妊娠届時に保健師などと面談後、出産準備としてマタニティギフト（5万円）の申請受付
- 妊娠32週頃、保健師・相談員が訪問し、育児用品詰合せの育児パッケージの贈呈
- 出生届後、保健師などが乳児訪問にて母親父親と面談後、ベビーギフト（5万円）の申請受付
- ネウボラ保健師や専門職が切れ目なく伴走支援をし、妊娠出産子育てを支援



子育ての相談、支援

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	503	2,514

継続 歴史を活用した地域創生事業

担当課 生涯学習課

8,120万円

伊達市の歴史を守りながら次世代につなぎ、その魅力を広く発信していきます。

梁川総合支所4階を中世伊達氏の歴史や魅力の発信拠点とするため、文化財収蔵公開施設への改修工事を行います。

【主な取り組み】

- 梁川総合支所4階の施設改修工事の実施



改修工事を行う梁川総合支所庁舎

財源（万円）	市の負担
	8,120

継続 認定こども園整備事業

担当課 こども未来課

4億4,948万円

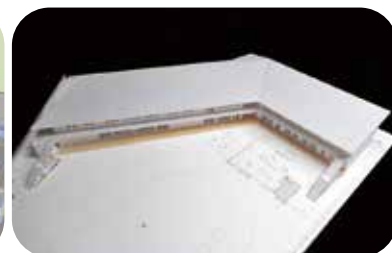
幼稚園施設の老朽化や保育需要へ対応するため、保原、伏黒、高子北地区へ民間事業者が建設する認定こども園整備に係る経費の一部に対して補助します。

【主な取り組み】

- （仮称）保原認定こども園
場所：伊達市保原町大泉字道城場内
定員：234名予定 開園：令和6年4月予定
- 伊達・ひかり認定こども園
場所：伊達市伏黒字一本石地内
定員：126名予定 開園：令和6年4月予定
- （仮称）高子北認定こども園
場所：伊達市保原町高子岡地内
定員：126名予定 開園：令和7年4月予定



伊達・ひかり認定こども園



（仮称）保原認定こども園

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	9,353	3億5,595

市の宝である子どもが健やかに育つよう、「伊達市版ネウボラ事業」の充実をはじめ、市全体で子育て家庭を応援する体制の強化を図るとともに、未来を拓く人材の育成に向け、学校教育・生涯学習環境の充実、市民主体のスポーツ・文化・交流活動の促進に努めます。

137 事業
94 億
5,202 万円

新規 給食費支援事業

担当課 学校給食センター

1,293 万円

「食」の現場から「食育」の現場へ安全安心でおいしい給食を届けます。令和5年度は保護者の負担を増やすことなく安全安心な給食を提供するため、市内の小中学校児童生徒、幼稚園児の給食費の一部を支援します。

【主な取り組み】

- 給食費の支援、補助
- 伊達市中央給食センター 979万円
- 伊達学校給食センター314万円



給食センターでの調理の様子

財源 (万円)	市の負担
	1,293

継続 伊達小学校改築事業

担当課 教育総務課

23 億 7,208 万円

伊達小学校（昭和49年築）の改築により安全・安心・快適な教育環境を整備します。

令和5年12月に校舎・講堂棟、令和6年度に外構・関連道路改良工事の完了を目指します。

【主な取り組み】

- 校舎・講堂棟建設工事
- 外構工事
- 屋外遊具設置工事
- 関連道路改良工事
- 仮設校舎賃貸借など



伊達小学校完成のイメージ

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	20 億 4,649	3 億 2,559

一新 就学援助事業（中学校）

担当課 学校教育課

2,960 万円

経済的な理由で就学が困難と認められる生徒の保護者に対して、学用品費や給食費などの就学に必要な費用を援助します。また、令和5年度から新たに市単独で高校就学準備金として一律20万円を援助します。

【主な取り組み】

- 就学援助制度の積極的な周知
(就学時健康診断、入学前説明会、広報紙、校内でのお知らせの配布など)
- 就学援助対象者のうち中学3年生について、申請により高校就学準備金の支給



誰もが学べるよう支援をしています

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	2,955	5

継続 放課後児童クラブ建設事業

担当課 こども未来課

4 億 4,576 万円

かみほばら児童クラブの施設老朽化に加え、上保原地区の人口増加による学童保育への需要増加に対応するため、(仮称)かみほばら放課後児童クラブ館を整備します。

【主な取り組み】

- (仮称)かみほばら放課後児童クラブ館の建築工事および屋外整備工事
場所：伊達市保原町上保原字無苦代内地内
定員：120名予定
開所：令和6年4月予定



かみほばら児童クラブ館

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	3 億 7,311	7,265

活力とにぎわいあふれる産業のまち



【新】やながわ希望の森公園維持管理事業

担当課 梁川総合支所

3,713 万円

自然と触れ合える市民の憩いの場とするため、来園者が安心・安全に利用できるように園内施設などの維持管理を行うとともに、やながわ希望の森公園再整備基本設計および実施設計（1期工事）を実施します。

【主な取り組み】

- やながわ希望の森公園内施設維持管理
- やながわ希望の森公園再整備基本設計および実施設計（1期工事）
- ミニSL運行管理



やながわ希望の森公園（ミニ SL）

財源（万円）	市の負担	その他（使用料・雑入）
	3,477	236

【新】森林資源を生かした生業づくり事業

担当課 農林整備課

1,647 万円

伊達市林業の活性化を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林所有者への意向調査、林業従事者の育成、支援および森林公園の森林景観環境整備を実施します。

【主な取り組み】

森林経営管理法に基づき、森林機能の維持、回復を図るため、森林所有者への意向調査を実施し、森林経営管理計画を策定

- 森林公園（霊山湧水の里）の持つ公益的機能の維持、回復を図るため森林景観環境整備（伐採、受光伐、下刈など）の実施
- 林業の振興と担い手育成のため、林業体験活動や資格取得（草払機、チェーンソーなど）に要する費用支援



森林公園の景観環境整備

財源（万円）	市の負担
	1,647

【新】観光でにぎわう魅力づくり事業

担当課 商工観光課

6,541 万円

市内への観光誘客を図るため、市出資法人などと連携した各種観光誘客事業に取り組むとともに、イオンモール内に特産品などを販売するアンテナショップの設置に向けた準備を進めます。また、姉妹都市などと物産交流を行い、特産品のプロモーションを実施します。

【主な取り組み】

- 観光案内所の運営
- 姉妹都市などとの物産交流
- 霊山新緑まつり、紅葉まつりの開催
- レンタサイクルの貸出し
- アンテナショップの準備



伊達市観光案内所（梁川総合支所庁舎内）

■ARダテニクル 298万円

- 伊達市観光PRアニメ「政宗ダテニクル」の聖地を訪れた際にキャラクターなどと写真撮影が可能な「ARダテニクル」アプリ開発および配信
- アプリケーションストアへの掲載



■サイクリングアプリ「ツール・ド」の活用 361万円

- サイクリングアプリ「ツール・ド」を活用し、市内周遊の向上とレンタサイクルの利用促進
- サイクリングアプリの運用とアプリを活用した自転車イベントの開催
- フォトコンテストの開催



財源（万円）	市の負担	その他（使用料）
	6,517	24

特色ある農業のまちとして、担い手の育成・確保、農産物のさらなるブランド化の促進をはじめ、多面的な農業振興施策を推進するとともに、にぎわいあふれるまちづくりに向け、商工業の振興や観光機能の強化、雇用の確保・拡大に向けた取組を推進します。

57事業
12億
7,466万円

新 月館 + cycle 推進事業

担当課 月館総合支所

8,364万円

「自転車と泊まれる宿」のキャッチコピーどおり、サイクリストが興味を引くコースの紹介や周辺地域の情報発信およびイベントの企画など、簡易宿泊所の利用促進を図りながら交流人口の拡大を目指します。

【主な取り組み】

- 駐車場整備等の外構工事
- 建築補完工事
- 屋外サイン工事
- プレハブ解体工事
- 旧小手小学校簡易宿泊所の管理運営



旧小手小学校

財源（万円）	市の負担	その他（使用料及び繰入金）
	7,828	536

継続 霊山地区観光用施設管理事業

担当課 霊山総合支所

5,582万円

霊山こどもの村の施設整備としてキャンプ場などをリニューアルし、交流人口の拡大や新たな利用者の増加を図ります。

【主な取り組み】

- 霊山こどもの村キャンプ場・遊歩道・コテージ改修などの施設整備に係る工事



霊山こどもの村キャンプ場

財源（万円）	市の負担
	5,582

新 農業振興対策補助事業

担当課 農政課

1,252万円

伊達市の基幹産業である農業の振興を図るため、農家に対して各種補助事業を実施します。

【主な取り組み】

- 農家が加入する収入保険・果樹共済掛金助成
 - ・認定農業者：収入保険10%・果樹共済15%
 - ・一般農家・認定農業者：収入保険加入1年目30%、2年目20%、3年目10%
- 青色申告新規相談支援事業
 - ・記帳代行料1/2以内の額を補助



伊達市特産の桃

財源（万円）	市の負担
	1,252

継続 就農支援事業

担当課 農政課

5,245万円

新規就農者、担い手確保のため就農初期を支援し、意欲と経営能力のある担い手を育成します。また、遊休農地を就農希望者用研修圃場として再生します。果樹繁忙期に労働力を確保するため、営農者に対するアンケートを実施します。

【主な取り組み】

- 農地賃借料補助、農業機械・施設整備補助、移住就農者家賃補助
- 農繁期労働力需要調査
- 農作業研修制度の構築・運営



就農者へ農業指導

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	2,245	3,000



便利で快適に暮らせるまち

新 デジタル変革推進事業

担当課 デジタル変革課

3,752万円

将来課題や多様化する市民ニーズ、社会情勢の変革に対応する行政経営を確立し、持続可能な地域として発展していくため、デジタル技術を活用した利用者視点の新たな行政サービスを提供するスマート自治体への転換と地域社会のDX（デジタル変革）を推進します。

【主な取り組み】

■スマート行政手続の推進 1,839万円

身近な情報端末であるスマートフォンとデジタル技術を活用し、新たな行政サービスを提供します。

- Web手続案内ガイド、チャットボットによる自動案内サービスの提供
- 行政手続のオンライン化の推進
- 窓口キャッシュレスの環境整備
- マイナンバーカードを活用した申請書発行機の導入
- 行政事務の効率化・省力化（業務用チャットツールの活用）



◀公式 LINE やホームページから利用できるチャットボット



マイナンバーカードを活用した申請書発行機のイメージ

■デジタルデバйд対策 426万円

年齢や性別などに関わらず、各種デジタルサービスを活用できる市民を増やす取り組みを進めます。

- デジタル活用支援（高齢世代・初心者向けスマホ教室、デジタル巡回相談）
- デジタルサポーター育成（デジタル活用支援人材育成講座の開催）



初心者向けスマホ教室

■デジタル社会推進 1,487万円

地域の活性化や新たな価値創出のため、デジタル技術や市保有のオープンデータの活用を推進します。

- 市保有の地図・施設情報、統計情報のオープンデータ化（防災マップを含む公開型GIS）
- 官民共創のデジタル社会構築に向けた外部人材の活用



◀避難所のピクトグラム



公開型 GIS（地図情報）に避難所を表示したイメージ

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	3,510	242

市全体の持続的発展に向け、計画的な土地利用・市街地整備、道路の整備・長寿命化、公共交通の見直し、デジタル化を推進するとともに、快適な住環境づくりに向け、住宅施策や定住・移住をサポートする施策、上・下水道の整備充実、公園・緑地の有効利用を進めます。

65事業
31億
2,464万円

新 移住・定住促進事業

担当課 協働まちづくり課

3,191万円

定住人口の増加による地域活性化を図るため、各種団体が主催する都内移住相談会への出展、地方への移住希望者を対象に伊達市の魅力発信とセミナーを開催します。新たに、保育・福祉職を目指す県外在住者向けの移住支援により、市内で不足する人材を確保します。また、農地付き空き家バンクを運営し、伊達市への移住定住と空き家の利活用を促進します。

【主な取り組み】

- 移住定住コンシェルジュによる相談対応
- 首都圏での移住セミナーの開催
- 移住者向けの支援制度
- 移住（転入）者交流会の開催
- 空き家バンクの運営 など



移住者交流会ワークショップの様子



オンライン移住セミナーのチラシ



移住定住コンシェルジュによる移住相談

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	2,306	885

新 全世代・全員活躍のまち事業

担当課 協働まちづくり課

3,257万円

子どもから高齢者、移住者などの全世代・全員が居場所と役割をもって活躍することができるコミュニティづくりを目指すため、高子駅北地区に多世代交流の拠点施設とお試し居住施設を官民連携により整備します。

【主な取り組み】

- 地域の賑わい創出のためのイベント（マルシェ・ワークショップ開催など）
- 新しい働き方に対応したテレワークスペースの提供
- 県内外の学生による交流事業
- お試し居住施設での生活体験 など



多世代交流の拠点施設の完成イメージ

財源（万円）	市の負担
	3,257



便利で快適に暮らせるまち

新 ワークेशन整備事業 (月館+ cycle 推進事業)

担当課 月館総合支所

115万円

廃校となった小学校の利活用を目的に、レンタルルームやワークションスペースとして活用するための館内のWi-Fi環境を整備します。

【主な取り組み】

- 館内電話機整備
- 館内Wi-Fi機器整備
- 事務用ノートパソコンの賃借
- プリンター複合機賃借



整備を行う旧小手小学校の教室

財源 (万円)	市の負担
	115

継続 だて婚活支援事業

担当課 協働まちづくり課

1,115万円

結婚希望者の不安軽減やスキルアップなどを図るためのセミナーを開催するとともに、民間団体が実施する婚活イベントを支援します。

また、新婚世帯を対象に住宅取得費用などの一部を補助します。引き続き、過疎地域への補助を加算するとともに、所得要件や補助上限額などの拡充を図ります。

【主な取り組み】

- 婚活セミナーの開催
- 婚活イベント費用の補助
- 新婚世帯の住宅取得費用などの補助



婚活のイメージ

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	572	543

継続 道路新設改良事業

担当課 建設課

5億9,127万円

伊達市内の道路整備により道路ネットワークの充実を図ります。

【主な取り組み】

道路整備：2路線

- 市道大柳石橋線
伊達市保原町大柳字大鳥地内外
(道路舗装工事L=600m・橋梁上部工事1式・物件移転補償)

- 市道大柳高子線
伊達市保原町上保原字西向地内
(道路改良工事L=137m・物件移転補償)



財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	4億667	1億8,460

*標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減します。



大型商業施設誘致促進事業（土地区画整理事業支援）

担当課 都市整備課

1 億 5,000 万円

東北中央自動車道伊達桑折 IC 周辺に新たな都市機能を誘導するため、大型商業施設の誘致を前提とした土地区画整理事業を実施する伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合に対して、技術的および財政的支援を実施します。

【主な取り組み】

- 伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業に対して、国県道の改良工事に係る工事費および物件移転補償費の一部を補助
- 土地区画整理組合に対して、土地区画整理法第75条による技術的援助



土地区画整理事業が行われている堂ノ内地区

財源（万円）	市の負担
	1 億 5,000



阿武隈急行支援事業

担当課 生活環境課

1 億 7,676 万円

阿武隈急行株式会社の経営や鉄道施設の整備に対して、宮城・福島両県および沿線自治体が協調して補助することにより、市民の公共交通による移動手段を確保します。

【主な取り組み】

- 阿武隈急行株式会社に対し、緊急保全整備事業などに要する経費などの補助
- 阿武隈急行線再生支援協議会（両県および沿線自治体）による阿武隈急行線が安心安全な運行の確保および経営改善を図るための支援・協議



伊達市内を走る阿武隈急行

財源（万円）	市の負担
	1 億 7,676



道路施設等維持管理事業

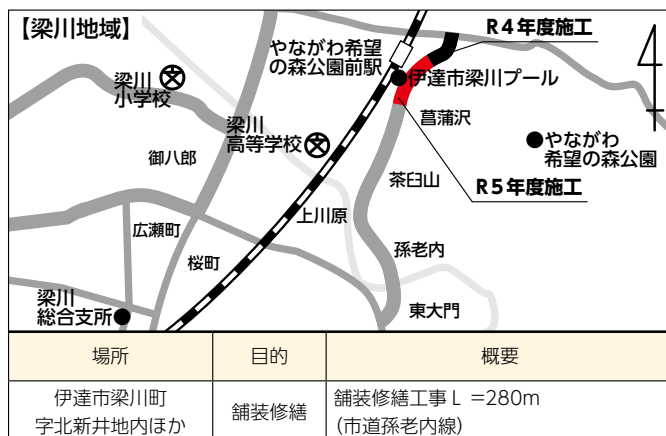
担当課 維持管理課

2 億 8,636 万円

道路の維持修繕を行い一般交通に支障を及ぼさないように道路を保全し、生活に密着した現道整備を進め、市民の安全で快適な生活環境の確保を図ります。

【主な取り組み】

- 現道舗装、水路整備
 - ・伊達市一円
- 舗装修繕
 - ・市道孫老内線 伊達市梁川町字北新井地内ほか（舗装修繕工事L=280m）
- 街路灯管理
 - ・街路灯の修繕、新設



財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他
	2 億 6,545	1,456	635

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減します。

みんなでつくる協働のまち



一新 集落対策事業

担当課 協働まちづくり課

1,722万円

地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有する「集落支援員」を配置し、集落への「目配り」として地域の巡回、状況などの把握を行い、地域の実情に応じた集落の維持、活性化を支援していきます。

【主な取り組み】

- 集落点検の実施
- 集落のあり方についての話し合い
- 集落の維持・活性化に向けた取り組みの支援 など



活性化に向けた話し合い

財源（万円）	市の負担
	1,722

一新 市民活動支援事業

担当課 協働まちづくり課

450万円

市民参画や協働のまちづくりを推進するため、市民活動支援センターを中心として、NPO法人や地域自治組織などの市民活動団体の活動運営などをサポートします。

【主な取り組み】

- 伊達市市民活動支援センターの運営
- 市民活動団体のスタートアップ費用の補助



市民活動ワークショップ

財源（万円）	市の負担
	450

新規 総合支所庁舎建設事業（伊達総合支所・霊山総合支所）

担当課 伊達総合支所、霊山総合支所

4,039万円

現在の伊達総合支所庁舎は建設後57年が経過し、霊山総合支所庁舎は建設後56年が経過し、老朽化や耐震性の課題を抱えているため、誰もが利用しやすい、安全・安心な庁舎を建設に向けて、令和5年度は庁舎の設計を進めます。

【主な取り組み】

- 令和5年度は基本計画に基づき、敷地測量調査・基本設計・実施設計
 - ・伊達総合支所 2,017万円
 - ・霊山総合支所 2,022万円



現在の伊達総合支所庁舎



現在の霊山総合支所庁舎

財源（万円）	市の負担
	4,039

男女共同参画社会の形成に向け、意識啓発や環境整備を進めるとともに、協働のまちづくりとそれを支える行財政の効率化に向け、町内会や地域自治組織の活動支援、市民や市民活動団体、民間企業などの参画・協働の促進、さらなる行財政改革や広域連携の強化を図ります。

161 事業
66 億
1,444 万円

新 住民基本台帳事務（マイナンバーカード普及事業）

担当課 市民課

4,345 万円

マイナンバーカードを活用して、各種証明（住民票、印鑑証明など）のオンライン請求ができる専用アプリを導入することで、24時間いつでも必要な時にオンラインでの請求が可能となります。手数料の支払いは、クレジットカード決済で行い、証明書は、後日郵送で届く仕組みを構築します。

マイナンバーカードの申請支援事務を市内5カ所の郵便局へ委託することにより申請できる窓口を増やし、利便性向上と普及促進を図ります。

【主な取り組み】

○スマート申請

マイナンバーカードを活用して、スマートフォンで各種証明書をオンラインで申請

①専用アプリから必要な情報を入力し、マイナンバーカードで電子署名

②クレジットカード情報を登録

③証明書の種類と必要枚数を入力およびクレジットカード決済

④市民課で証明書発行および発送

○マイナンバーカード申請支援事務委託

市内郵便局5局へ申請支援事務を委託（保原郵便局、梁川郵便局、伊達郵便局、掛田郵便局、月舘郵便局）



郵便局でのマイナンバーカード申請支援

財源（万円）	国・県の負担	その他（使用料 手数料）
	3,889	456

新 シティプロモーション推進事業

担当課 秘書広報課

450 万円

全国に伊達市をPRする伊達なふるさと大使、自身の活動で魅力を伝える伊達な宣伝部長、SNSで魅力を発信するだてフォト部など、魅力を発信する担い手を育成します。また、市民の意欲の向上や、ブランドメッセージを活用した市民のシビックプライドの醸成など、魅力を発信し続け持続的に発展していくまちづくりを推進します。

【主な取り組み】

○伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長、だてフォト部の活動支援

○メディアを活用した伊達市の魅力の発信



伊達なふるさと大使によるトークイベント

財源（万円）	市の負担
	450

継続 伊達地域まちづくり活性化事業

担当課 伊達総合支所

1 億 7,139 万円

まちづくりの拠点として（一社）まちづくり伊達への活動支援を図り、中央商店街一帯の具体的な活性化策などについて連携・協力のうえ実効性のある事業を推進します。

【主な取り組み】

○賑わいのある商店街を目指し、イベントや起業者や後継者育成支援

○こどもから高齢者まで、多世代の方々が安全に楽しめる多世代交流施設の建設



まちづくりの拠点となる多世代交流施設のイメージ

財源（万円）	市の負担
	1 億 7,139

伊達市歌

作詞：和合亮一

作曲：伊藤康英

みらいへ	伊達の	ともに道あり	あしあと	あしおと	セキレイの翼（はね）	かがやく峰に	緑のかなた	風のふるさと	はるか青空	虹とささやき	めぐる野原で	くものうたごえ	1. ひかりのはだし
あしたへ	伊達の	ともよ道あり	あしあと	あしおと	セキレイ光り	ほほよせる季節（とき）	緑の木の実	桃のふるさと	はるか夕焼け	あかまつたずね	空のふもとに	のみち あぜみち	2. 星ふるすあし
		あしたへ	みらいへ	はるか伊達路へ	道行く道へ	はるか伊達路へ	ふるさと	一つの	たった一つ	川も 山も	風も 町も	谷も 鳥も	3. 空も 雲も

市の花木鳥



花「もも」



木「あかまつ」



鳥「せきれい」

＊ 発行 ＊

伊達市役所 総務部 秘書広報課

〒 960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋 180 番地
 電 話 024-575-1113 FAX 024-575-2570
 Eメール press@city.fukushima-date.lg.jp